

JA佐伯中央自己改革取組宣言

これまでも、これからも、地域とともに、
JA佐伯中央は「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」
「地域の活性化」につながる総合事業を展開します。

協同組合の原点に立ち、組合員の皆さまとの話し合いを深めます。

組合員の一人ひとりが力をあわせ、みんなの願いをかなえていき、

そして「総合事業だからこそ」の強みを活かし、地域にとってなくてはならない組織であり続けます。

JAは、農業者である正組合員、農業者以外の准組合員が組織する協同組合です。農業者の営む農業と生活を支えるため、各種事業を総合的に展開しています。

JAは、農業者の所得増大や地域農業の振興を目的として、農産物の販売や営農相談、暮らしの相談活動を通じて、信用事業（JAバンク）、共済事業（JA共済）等の様々な事業に結びつけ、地域づくりに取り組んでいます。

また、農業者以外の方は准組合員として信用事業、共済事業等を利用し、ニッポンの食を応援して頂いています。

信用事業や共済事業、経済事業を含めた全体の収支による安定したJAの経営基盤を維持することで、多額の農業施設投資が可能です。

いわば、准組合員は農業者と地域農業の応援団であり、総合事業を通じて地域の農業と暮らし、みんなの願いをかなえる取り組みを支えあっています。

主な取り組みを紹介します

農業者の 所得増大

産直市場を出荷者と消費者を結ぶ販売拠点として位置づけ、消費者ニーズを把握するとともに、出荷者との情報共有を通して売れる農畜産物の生産提案や品揃えの充実に取り組み、管内の標高差を活かした周年出荷体制の確立を目指します。

また、管内振興野菜の販路拡大を図るとともに、全農等と連携した買取販売体制の確立強化に取り組み、農家の所得増大を図ります。

農業生産 の拡大

生産者部会と連携した新規生産者等の発掘に努め、地域農業の核となる担い手育成に努めます。具体的には、新規就農者の就農支援や経営安定の確立に取り組みます。また、小規模農家の支援を行うとともに次世代農家や定年帰農者の育成・営農支援を図ります。

生産・経営・省力化等の向上となる「スマート農業」の技術導入・普及に取り組み次世代農業の発展を図ります。

地域の 活性化

支店を中心とした組合員への訪問活動による「顔の見える関係づくり」に取り組み、支店・事業所によるイベントの開催、地域行事への参加による組合員ならびに地域のみなさまとの結びつきを実践し協同活動の活性化を図ります。

組合員ならびに地域のみなさまが参加・参画する教育文化活動やJA食農教育の実施により地域社会に必要とされるJAを目指し、次世代や新たなJAファンづくりを図ります。